

2026年4月1日
株式会社エフテック

亀山事業所においてオンサイト PPA モデルによる太陽光発電設備を導入 ～年間 112 万 kWh のクリーンエネルギー創出により、脱炭素経営を加速～

株式会社エフテック(以下、当社)は、サステナビリティ経営の一環として、亀山事業所(三重県亀山市)に太陽光発電設備(以下、本設備)を導入し、稼働を開始いたしましたことをお知らせいたします。

本設備の導入に際しては、SMFL みらいパートナーズ株式会社(本社:東京都千代田区)とのパートナーシップによる「PPA モデル」(※1)を採用しております。本設備の稼働により、亀山事業所における年間消費電力の約 8 分の 1 に相当する、約 112 万 kWh を再生可能エネルギーに転換し、年間で約 460 トンの CO2 排出量削減を見込んでおります(※2)。

当社は、これからも技術と志をもって、カーボンニュートラルな社会の実現に向け、挑戦を続けてまいります。



(※1)PPA モデルとは、Power Purchase Agreement(電力購入契約)に従い、発電事業者が自らの費用負担により、企業の敷地や屋根等に太陽光発電設備を設置し、発電した電力を当該企業に対して長期契約に基づき供給・販売する仕組みです。企業側は、初期投資や保守・メンテナンスの負担を負うことなく、安定的かつ継続的に再生可能エネルギーを導入・利用できる点が特徴です。

(※2)環境省・経済産業省公表の「令和 8 年度提出用」電気事業者別排出係数における、中部電力ミライズ株式会社の残差排出係数(0.411kg-CO2/kWh)を用いて算出しております。

以上